

杉山 優子 Sugiyama Yuko

美術家。京都府南丹市在住。1961年岩手県盛岡市生まれ。幼少の頃は札幌に暮らし、その後、関東、関西地域に住む。1981年より1994年までは、「熊谷優子」名で活動。1986年東京芸術大学大学院美術研究科（油画）修了。2007年より京都芸術大学通信教育課程非常勤講師。

布で作ったクッション状のオブジェを絵の具のようにあつかい、直接壁に設置する「絵画的なインスタレーション作品」およびワークショップを、画廊や美術館等で発表。「びょういんあーとぶろじえくと」メンバーとの出会いから、病院にアートがあることに関心を持ち、初参加。作品と共に在ることで、検査や診察を待つ間が、つらさを忘れて穏やかな時間として動き出すことを願って。



作品タイトル：「夜のあいだ」
素材：絵葉書、大正時代の雑誌、アクリル絵具など

瀬川 葉子 Segawa Yoko

美術家。1955年札幌市生まれ。札幌在住。北海道教育大学札幌分校特設美術課程卒業。

日常身近にある紙や包装紙を素材にして、ファイルしたり、コラージュしたりして、暮らしの中にふと感じる自然を表している。小児科で、子育てが楽しいものであってほしいと願い、院内で子どもの作品展示などを行ったことが、びょういんあーとに参加するきっかけとなった。

今回の札幌ライラック病院の展示では、北国の初夏の木々の緑、花の蕾、光などを、コラージュで表している。また、『とどける・むすぶ』のテーマにより、大切な友人たちとの交流の中で得た素材を使い、手紙をやりとりするような形をとった作品を作っている。

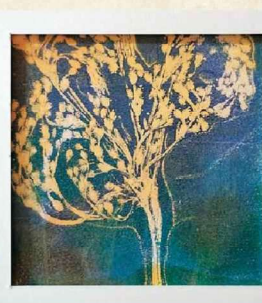


作品タイトル：「手紙」
素材：紙 切手 アクリル絵の具 シールなど

日野間 尋子 Hinoma Hiroko

美術家。札幌市在住。1962年、夏、北海道旭川市生まれ。1984年、北海道女子短期大学工芸美術油彩コース専攻科修了。

1986年より札幌、東京にて個展、グループ展等。2000年-2006年、欧州でのアートプロジェクトに参加。その間、芸術療法士（音楽/美術）との出会い、共同制作を通して「ケアとアート」の接点に注目するようになる。2004年、ザルツブルク（オーストリア）市内の病院で開かれていた展覧会をみて心動かされる。札幌に帰り、障害者支援施設と精神科病院で働く傍ら、2008年、札幌ライラック病院にて「びょういんあーとぶろじえくと」の活動をはじめ。何気ない日常の中で感じた風や光、人とのめぐりあいを大切にしていきたい。



作品タイトル：「日めくり」
素材：和紙、アクリル絵具

関連企画 ワークショップ

こころと触れあうアートワーク

日 時：2025年6月16日（月）13:30～15:30
会 場：NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会 事務所
定 員：10名（先着）
参加費：300円



■ファシリテーター：杉山 優子

■内容：はじめは小さな点と点。色とりどりのパステルで、色に気持ちをのせて描いたりクルクル混ぜながら、うまれる変化を楽しむワークです。アートを通じて自分の心と触れ合ってみませんか？

企画共催

NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会
メール：shimin-hospice@nifty.com

第16回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

ソーシャルアクティビティ企画参加

「まざらさるケア×アート」 ブース/ワークショップ出展

会期：2025年6月21日（土）～22日（日）
会場：札幌コンベンションセンター

ワークショップ出展 自由に造形あそび

■内容：さまざまな素材と道具を使って、自由に造形します。決められたテーマや作り方はなく、のびのびと遊びながら造形するプロセスでの学びを重視した、こどもの創造力を引き出していくワークショップです。

■講師：梅田 真紀

■略歴：糸びと工房こども美術室を開室し、アートワークショップを多数実践。映像装置の制作研究も行う。現在、小田原短期大学保育学科助教、星槎道都大学非常勤講師、札幌大谷大学短期大学部非常勤講師、札幌国際大学・短期大学部非常勤講師。

ブース出展 参加アーティスト

梅田 力 彫刻家 / 星槎道都大学准教授
梅田 真紀 アートワークショップデザイナー / 大学助教
小林 麻美 画家 / 日本芸術療法学会会員
佐藤 隆之 美術家 / 北海道美術工芸協会会員
日野間 尋子 美術家 / 日本美術家連盟会員

ワークショップ出展 ①たねをつくろう ②植物を描こう

■内容：①種子や豆類の観察や触り心地を楽しんだ後に、実際に5倍サイズ程で「オリジナルの種子」を粘土に触りつつ想像してつくります。②サンプルの種子作品からお気に入りのものを選んで、その種が育った時の「架空の植物」を描きます。①②を続けて参加する事も可能です。

■講師：小林 麻美

■略歴：画家 / 中・高美術教員 / 日本芸術療法学会所属。画家としての制作活動と並行し、アトリエでアートワークショップを行う。陶芸療法、園芸療法、箱庭療法等のアートセラピーのメソッドを造形遊びに取り入れ、ワークショップや出張授業の講師を務め、学校や地域における「アートの処方箋」的ケアの在り方を模索。

本展の概要・アクセス

テーマ：「とどける・むすぶ」（びょういんあーとぶろじえくと2025）
会 期：2025年5月12日（月）～9月27日（土）12:00～18:00
会 場：医療法人北志会 札幌ライラック病院1F待合室、通路 他
札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号 tel 011-812-8822
美術制作：北の峯学園絵画クラブメンバー、杉山 優子、瀬川 葉子、日野間 尋子
テキスト：加藤 康子
デザイン：井上 始子
主 催：びょういんあーとぶろじえくと
後 援：札幌市、札幌市教育委員会（公財）北海道文化財団
（公財）道銀文化財団 NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会



ご連絡先

びょういんあーとぶろじえくと代表
日野間 尋子（ひのまひろこ）

✉ メール
hpj2025@hinoma.com

📖 フェイスブック
www.facebook.com/Byouinatopurojekuto

🏠 ホームページ
www.hinoma.com/hospitalart/

